令和2年度事業(中間)評価結果一覧表(政策体系順)

								評価結果			
No	政 _ 施 策 _ 策	事業名	部局名	課室名	開始 年度	終了年度	令和元年度 事業費 (千円)	必要性	有効性	効率性	総合評価
1	3 - 3	秋田米をリードする新品種デ ビュー対策事業	農林水産部	水田総合利用課秋田 米ブランド推進室	2018	2021	35, 284	В	В	В	A
2	3 - 3	水田畑地化基盤整備事業	農林水産部	農地整備課	2016	2021	28, 141	В	В	В	A
3	3 - 3	戦略作物生産拡大基盤整備促進 事業	農林水産部	農地整備課	2014		280, 730	В	A	В	A

) 於 於 於 等 亲 十 可 計 一 前 青		令和02 中 _医				,	1			評1四惟)			
事業コー	-F* 03030204				政策コード		政策名		抜く攻めの農					
事業名	☆ 秋田米をリードする新	新品種デ	ビュー対策事業		施策コード		施策名		的な生産・販					
争 耒 1	五				指標コード	02	施策目標(指標)名			ビューと販売	対策の強化			
部局	名 農林水産部 誤	室名	水田総合利用部	果秋田米ブランド	班名 秋田米	ブランド		(tel)	1784 担	旦当課長名	加賀谷由博	担当	者名 佐藤正	康
				価 対 象		• ••	内 容				事業年月	要 平成30	年度 ~	令和03年度
全国的 国の米政	.事業実施当初の背景(対な米の需要の減少や、新が 対策の見直し等により、県 対の向上を図るため、牽引行	たな良食『 産米を取り	味ブランド米の設 り巻く環境が厳し	延生による産地間競 いさを増す中、県産	語争の激化、さ [米のブランド]	らには、	新 り、 	ミついつ状態に 行品種が、全国(産地イメージ(点施策推進方	のトップブラン の向上や秋田シ	ンド米として	力のアップに	つなげる。	こともに、秋日	日米の牽引役と
										里从	事 表	その他事業		
1 - 2	外部環境の変化及び事	 雲業推進					事業の実施主	体 県						
産地間	引競争が激化する中にあっ ^つ	て、新品和	種が全国トップフ	ブランドになるため	には、生産、	流通・販	事業の対象者	•団体 農業者、	JA等農業団体、	県				
売、情報	最発信の三つの視点から成る	る総合的ス	な戦略に基づき、	行政、農業団体、	商工・観光事	業者等が	達成のための	手段						
	オール秋田体制で取組を打							策の確立		ノド米の地位の	確立に向けた流			定供給できる生産 心を高めるための
	民ニーズの状況(事業継					-		—————————————————————————————————————	/n/ //±			+ + + +		
		受益者		民 (時期: RO	,		5.昨年度の評		継続	改善		直しまたは		
		a 増大し	した b 変わら	ない c 減少し	した		評価の内容	激化する産地間の指針になる。	競争に打ち勝ち	、トップブラン	ド米としての地	位を確立するた	めには、新品科	の生産・流通・販
	ズの把握の方法							の指針となる秋田米新品種ブランド化戦略を策定し、戦略に基づく各種対策を着実に進める必要があるため を実施する必要がある。						
					インターネッ	-		2.イ而 (ご 寸寸						
				ド化戦略本部におけ	ける意見)								
当 ると	ズの具体的内容及び変化 生産現場や農家からの新品種 ということは疑いがなく、新	重への関心	ひは非常に高い。産				評価に対 する対応	令和2年3月に、	秋田米新品種ブ	ランド化戦略本	部において秋田	米新品種ブラン	′ド化戦略を策定	とした。
	ぁる。 『業の全体計画及び財源													
														 単位(千円)
盾份					<i>O</i>	DF		3.0 年度	0.1年度	0.2年度	0.3年度	0.4 任度	0.5 年度	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
なかか	事業内訳	生物	見種性州である	左	の 説 編L/23-###	明	・スレレキに 仝和4年	30年度	0 1年度	0 2年度	0 3年度	0 4 年度	05年度	, ,
なかな				<u>左</u> 食味の良さを最大限発 ナ、生産者の確保や栽	揮し得る栽培方	 法を確立す				0 2年度	03年度	04年度	05年度	全体(最終)計画
01 確かな 業 02 トップ	事業内訳	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューサ	ーー 食味の良さを最大限発	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ	法を確立す 優良種子の	生産等を進める。	23,624	23,827			0 4 年度	05年度	全体(最終)計画 138,9
01 確かな 業 02 トップ 販売対	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 プブランド米の地位確立に向け 対策事業 度や関心を高めるための戦略的	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューt を確保し、訴求力の	食味の良さを最大限発 け、生産者の確保や栽 けーの監修の下に、名 のあるブランドイメー 場デビューに向け、デ	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。	法を確立す 優良種子の ンセプト、	生産等を進める。	23,624 8,309	23,827	41,471	50,000	0 4 年度	05年度	全体(最終)計画 138,9 36,4
01 確業 02 販売 2 対 2 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 プブランド米の地位確立に向け 対策事業 度や関心を高めるための戦略的	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューサ を確保し、訴求力の 令和4年度の市場 からの関心や期待是 「秋田米新品種フ	食味の良さを最大限発 け、生産者の確保や栽 けーの監修の下に、名 のあるブランドイメー 場デビューに向け、デ	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。 ビュー前から戦 の円滑な運営を	法を確立す 優良種子の ンセプト、 略的な情報 図3るととも	生産等を進める。 ロゴマーク等の統一原 発信を実施し、県内タ	: 23,624 惑 8,309	23,827	41,471 14,657	50,000 2,000 118,000	0.4年度	05年度	全体(最終)計画 138,9 36,4 181,8
01 確業 02 版 知信 3 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 ブブランド米の地位確立に向け 対策事業 きや関心を高めるための戦略的 業	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューサ を確保し、訴求力の 令和4年度の市場 からの関心や期待是 「秋田米新品種フ	食味の良さを最大限発 け、生産者の確保や栽 サーの監修の下に、名 かあるブランドイメー 場デビューに向け、デ 感を高める。 ブランド化戦略本部」	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。 ビュー前から戦 の円滑な運営を	法を確立す 優良種子の ンセプト、 略的な情報 図3るととも	生産等を進める。 ロゴマーク等の統一原 発信を実施し、県内タ	: 23,624 惑 8,309	23,827	41,471 14,657 63,810	50,000 2,000 118,000	0 4 年度	05年度	全体(最終)計画 138,9 36,4 181,8
01 確業 02 販売 2 対 2 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対 3 対	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 ブブランド米の地位確立に向け 対策事業 きや関心を高めるための戦略的 業	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューサ を確保し、訴求力の 令和4年度の市場 からの関心や期待是 「秋田米新品種フ	食味の良さを最大限発 け、生産者の確保や栽 サーの監修の下に、名 かあるブランドイメー 場デビューに向け、デ 感を高める。 ブランド化戦略本部」	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。 ビュー前から戦 の円滑な運営を	法を確立す 優良種子の ンセプト、 略的な情報 図3るととも	生産等を進める。 ロゴマーク等の統一原 発信を実施し、県内タ	: 23,624 惑 8,309	23,827	41,471 14,657 63,810	50,000 2,000 118,000	0 4 年度	05年度	全体(最終)計画 138,9 36,4 181,8
01 確かな 02 トップ対 03 知信事 04 プラン	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 ブブランド米の地位確立に向け 対策事業 きや関心を高めるための戦略的 業	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューセ を確保し、訴求力の 令和4年度の市均からの関心や期待是 「秋田米新品種コンド化戦略」に基立	食味の良さを最大限発 け、生産者の確保や栽 サーの監修の下に、名 かあるブランドイメー 場デビューに向け、デ 感を高める。 ブランド化戦略本部」	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。 ビュー前から戦 の円滑な運営を	法を確立す 優良種子の ンセプト、 略的な情報 図3るととも	生産等を進める。 ロゴマーク等の統一原 発信を実施し、県内タ	: 23,624 惑 8,309	23,827	41,471 14,657 63,810	50,000 2,000 118,000 10,000	0.4年度	05年度	全体(最終)計画 138,9 36,4 181,8
01 確業 02 トップ い販売 名度業 04 プラン	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 プブランド米の地位確立に向け対策事業 度や関心を高めるための戦略的業 ンド化戦略推進体制整備事業 財源内訳	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューセ を確保し、訴求力の 令和4年度の市均からの関心や期待是 「秋田米新品種コンド化戦略」に基立	食味の良さを最大限発 け、生産者の確保や栽 サーの監修の下に、名 のあるブランドイメー 易デビューに向け、デ 感を高める。 プランド化戦略本部」 づく各種の取組をオー	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。 ビュー前から戦 の円滑な運営を	法を確立す 優良種子の ンセプト、 略的な情報 図3るととも	生産等を進める。 ロゴマーク等の統一原 発信を実施し、県内タ	23,624 8,309	23,827	41,471 14,657 63,810 8,186	50,000 2,000 118,000 10,000		05年度	全体(最終)計画 138,9 36,4 181,8 18,1 375,3
01 確業 02 販売 名事 04 フラン 国国県	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 プブランド米の地位確立に向け対策事業 きや関心を高めるための戦略的業 ンド化戦略推進体制整備事業 財源内訳 庫補助金 交付金	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューサ を確保し、訴求力の 令和4年度の市均からの関心や期待是 「秋田米新品種」 ンド化戦略」に基立	食味の良さを最大限発 け、生産者の確保や栽 サーの監修の下に、名 のあるブランドイメー 易デビューに向け、デ 感を高める。 プランド化戦略本部」 づく各種の取組をオー	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。 ビュー前から戦 の円滑な運営を	法を確立す 優良種子の ンセプト、 略的な情報 図3るととも	生産等を進める。 ロゴマーク等の統一原 発信を実施し、県内タ	23,624 8,309	23,827 11,457 35,284	41,471 14,657 63,810 8,186	50,000 2,000 118,000 10,000		05年度	全体(最終)計画 138,99 36,44 181,8 18,18
02 版元 2 版元	事業内駅 な品質で安定供給できる生産体 ブブランド米の地位確立に向け対策事業 きや関心を高めるための戦略的業 ンド化戦略推進体制整備事業 財源内訳 庫補助金 交付金	た流通・	の一般作付けに向け 総合プロデューサ を確保し、訴求力の 令和4年度の市均からの関心や期待是 「秋田米新品種」 ンド化戦略」に基立	食味の良さを最大限発 け、生産者のでに、名 けーの監修の下に、名 かあるブランドの付け、デ あを高いいでは、 がである。 ブランド化戦略本部 がく各種の収組をオー	揮し得る栽培方 培技術の普及、 称、プランドコ ジを構築する。 ビュー前から戦 の円滑な運営を	法を確立す 優良種子の ンセプト、 略的な情報 図3るととも	生産等を進める。 ロゴマーク等の統一原 発信を実施し、県内タ	23,624 8,309	23,827 11,457 35,284 16,262	41,471 14,657 63,810 8,186	50,000 2,000 118,000 10,000 180,000 75,000		05年度	単位(千円) 全体(最終)計画 138,99 36,44 181,8 18,18 375,34 139,8 235,55

	7 . 事業の	効果を把握するための手法及び効果の見込み				4 N= 4T/IT	
	指標名	新品種の生産数量 指標の種類				1 次評価	評価結果
	指標式	新品種の生産数量(t) 令和3年度に先行作付、4年度から一般作付けを 成果指標開始する。		剔	a 達成率 1 0 (目標は達成されているのかどうか) 適用の可否 可 不可 0%以上 b達成率80%以上100%未満 c達成率80%未満	Α
	年度別	の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当	11	性		可又はcの場合の理由】	В
	指標	30年度 01年度 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 最終年度] C	の 観		作付けは令和3年から実施するが、新品種のブランド化に向けた取組は着実に 、事業の有効性は高い。	Ь
坩	目標a	400 4,000 8,000 12,000] ;	点		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	С
指標	実績b		╛┝	1	事業の経済性の		
	b/a	0% 0% 0% 0%	1	'	事業の経済性の a 1.1~	D妥当性(費用対効果の対前年度比) 適用の可否 可 不可 b 0.9~1.1 c ~0.9	
		全国の状況該当なし	╛╽				
	データ	等の出典 水田総合利用課調べ	╛╽		今和01年	度の効果 度の決算額 平成30年度の決算額 (指標)	
	把握す	る時期 当該年度中 月 翌年度 03月 翌々年度 月	_	効	【評価への適用不可	可又はこの場合の理由】	Α
	指標名	指標の種類		※ 性 			
	指標式	成果指標 業績指標	il (മി			В
_	年度別	の目標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当	- <u>f</u>	観 2	コスト縮減のた	めの取組状況	
指標	指標] ′			果が高い b 取組んでいる c 取組んでいない	
112	日標a		↓			けた具体的な取組内容又は取組んでいない理由】	С
	実績b		4			をはじめ、商工・観光事業者などの協力を得て、新品種のPR展開を効果的かつ 施している。また、各業務の実施内容を十分に精査し、コスト削減に取り組ん	
	a / b		41		が年的に美力でいる。	他している。また、音楽物の美心的合を「力に相互し、コスト的域に取り組ん」 	
		全国の状況	-l L				
		等の出典	╛╽	A	A継続	新品種が産地間競争に勝ち抜き、全国トップブランドになるための指針とし新品種ブランド化戦略」を令和元年度に策定したところであり、本戦略に基づ	て「秋田米
		3時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月		総 B		新品種プラフト化製幅」をマイル中度に東定したことうであり、本製幅に基フ 年度の一般作付けと市場デビューに向けて、生産、流通・販売、情報発信に係	
		定することができない場合の効果の把握方法	Î	合 評 C	C見直し	の戦略をオール秋田体制で推進していく。	
	指標を	を設定することが出来ない理由	¬ {	猫 D)休廃止		
				E	終了		
	目記書		╛┟	_		2 次評価	
	元达。	と10の以来及り共体的を記述力は(アープの出発日の)	٦٢	\top	ᄽᄑᄮ		
					必要性 - A 		
		1 次評価	<u> </u>		A継続	(2次評価対象外)	
			果	-का	3改善して継続		
	課題に照	らした妥当性 a b c g野毎年が悪化する中では、変引役となり		1 mm 1	見直し		
	理るグラッ	別競争が激化する中、秋田米のブランド力の強化と競争力の向上には、牽引役となりがある。 ■ グシップ品種が不可欠である。	Ι.)休廃止		
Ιι	住民二一			E	終了		
		ズに照らした妥当性 a b c A A A A A A A A A A A A A A A A A A				評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)	
要	~1理 ドイメー	重のブランド化と高価格販売は、農家所得の向上はもとより、秋田米全体のブラン - ジの向上や販売力の向上につながる。					
性	画	В					
		妥当性(民間、市町村、国との役割分担) a b C					
Įσ.	法令・	女当住(CGB、「PB」))、 国この区部ガラケー a b c c c c c c c c c c c c c c c c c c					
죝		市町村で実施可能であるが県が関与する必要性が認められるもの C					
1	新品類	直は、県が育成した品種であり、そのデビュー対策は一義的には県が主導的に推進					
5	中 築、効果	であるが、高品質米を安定的に供給できる生産体制の確立や、販路チャネルの構 目的なプロモーション展開等には、農業団体をはじめとする関係団体との連携が不					
	□ 可欠であ	5ることから、官民一体となり、オール秋田体制で取組を推進する必要がある。					

V	4)継続事業中間評	1111週音 (令和02 年度実施事業)(事	- 13 2 H I IMM I 1-5%	28 年					評価確定	<u> </u>	和02 年 (, , , , , ,
事業	⊐- ド 03030407			政策コード		政策名	新時代を勝ち	抜く攻めの農	林水産戦略				
ㅌ 괏	★ 名 水田畑地化基準	盤整備事業		施策コード		施策名	秋田米の戦略						
[●] 录				指標コード		施策目標(指標)名							
3 E	3 名 農林水産部	課室名	農地整備課	班名 農地整			(tel)	1824	50 当課長名		担当		
			<u> </u>	象事 業	<u> </u>					事業年	变 □ 平成28	年度 ~	令和03年度
			標達成のためになぜこの事業										
伝換を		要があることか	造改革を促進するため、収益性の ら、水田畑地化の推進により、園				芸メカ団地なる の高い複合型≦				園芸作物や別	出作物の生産犯	広大が図られ、
							点施策推進方	針との関係)	重点	事業	その他事業		
						4 . 目的達成のた	<u>:</u> めの <u>方法</u>						
	 2 . 外部環境の変化	/乃バ車業保治	ことの課題			事業の実施主仰	本 県、農業	法人、農業者等	等				
			三の味趣 いて、農地の暗渠排水や土層改良	等の其般整備の!	まか エ	事業の対象者・	団体 農業者						
゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヺ゙゚ヺ	補助暗渠による排水	強化対策は必要	不可欠である。	での季亜正開の「	87, 6	- 達成のための !	 毛段						
										など、地域が一 用排水施設等を]芸産地を形成す	する農地等に、暗
	主民ニーズの状況(100 年 40 日 2		5 . 昨年度の評価	——————— 無幼田学	 継続			ーー 見直しまたは	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
	- ズを把握した対象					_							
	- ズの変化の状況	a 瑁天(した b 変わらない c 減少	シした			(一次評価結果) ^{度涯への助成が}						は化を目的とした補 さな効果が得られ
	- ズの把握の方法	夕廷子旦人刀	なび審議会 ヒアリング	<i>,</i> , , , , ,			· ((),((),(),(),()	问水皿下物工注	EJIA/(O/ICO/IC FI	M/4] PX C 00 9 3	、手来也大心也	//CCC C& 7/	C WWW D
		各種委員会及				1 10	•						
	ケいかいま 法 /	目体的に 亜雄		インターネッ	۲,		•						
		具体的に 要望なび変化の状況	量量調査	インターネツ)								
=-	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を	<u>び変化の状況</u> 予定している地域	量量調査	を備の要望がある	・) ほか、園	・ - 評価に対 する対応	引き続き事業を	実施した。					
=-	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を	<u>が変化の状況</u> 予定している地域 けを予定している	昰量調査 配の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤繋	を備の要望がある	・) ほか、園		引き続き事業を	実施した。					単位(千円
	ーズの具体的内容及 ・	が変化の状況 予定している地域 けを予定している	昰量調査 配の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤繋	を備の要望がある	・) ほか、園	する対応	引き続き事業を	実施した。	0 2年度	0 3年度	04年度	05年度	単位(千円全体(最終)計
二 - 6 . ¹ 位	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 ②の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 生 を関芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と	を備の要望がある D支援の要望があ の 説 なって園芸産地を	まか、園 る。 明	する対応				03年度	0 4 年度	05年度	全体(最終)計
5 . · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を 芸作物・畑作物の作付り 事業の全体計画及で 事業内	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 左	を備の要望がある D支援の要望があ の 説 なって園芸産地を	まか、園 る。 明	する対応	30年度	0 1年度	26,040	03年度	0 4 年度	05年度	全体(最終)計
6 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 ②の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 生 を関芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と	を備の要望がある D支援の要望がある D支援の要望がある の 説 なって園芸産地を対	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	30年度 33,439 3,369	01年度	26,040		0 4 年度	05年度	全体(最終)計 126,0
6。 位 1 ^{園 3}	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業 地化促進排水事業	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 ②の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 左 園芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と 農業法人等が行うモミガラ補助暗渠施	を備の要望がある D支援の要望がある D支援の要望がある の 説 なって園芸産地を対	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	3 0 年度 33,439 3,369	0 1年度 20,808 2,208	26,040	3,000	0 4年度	05年度	,
6 . · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業 地化促進排水事業	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 ②の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 左 園芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と 農業法人等が行うモミガラ補助暗渠施	を備の要望がある D支援の要望がある D支援の要望がある の 説 なって園芸産地を対	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	3 0 年度 33,439 3,369	0 1年度 20,808 2,208	26,040	3,000	0 4 年度	05年度	全体(最終)計 126,0
	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備を 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業 地化促進排水事業	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 ②の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 左 園芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と 農業法人等が行うモミガラ補助暗渠施	を備の要望がある D支援の要望がある D支援の要望がある の 説 なって園芸産地を対	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	3 0 年度 33,439 3,369	0 1年度 20,808 2,208	26,040	3,000	0 4 年度	05年度	全体(最終)計
	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備をき 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業 地化促進排水事業 作条件改善事業	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤素 5、農業法人等からは補助暗渠整備への 生 園芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と 農業法人等が行うモミガラ補助暗渠施 水田畑地化への取り組みを推進するた	を備の要望がある の支援の要望があった。 の 説 なって園芸産地を 工への助成 め生産基盤の整備。	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	30年度 33,439 3,369 5,386	0 1年度 20,808 2,208 5,125	26,040 3,000 48,050	3,000	0 4 年度	05年度	全体(最終)計
五 c c c c c c c c c c c c c c c c c c c	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備をき 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業 地化促進排水事業 作条件改善事業	が変化の状況予定している地域はを予定しているが財源	型量調査 の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 左 園芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と 農業法人等が行うモミガラ補助暗渠施 水田畑地化への取り組みを推進するた	を備の要望がある の支援の要望がある の 説 なって園芸産地を エへの助成 め生産基盤の整備。	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	30年度 33,439 3,369 5,386	0 1年度 20,808 2,208 5,125	26,040 3,000 48,050 77,090	3,000 63,480 66,480	0 4 年度	05年度	全体(最終)計 126, 22, 122, 122, 122, 122, 12700, 1270
6	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備をき 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業 地化促進排水事業 作条件改善事業 財源内訳 庫補助金	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤素 5、農業法人等からは補助暗渠整備への 生 園芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と 農業法人等が行うモミガラ補助暗渠施 水田畑地化への取り組みを推進するた	を備の要望がある の支援の要望がある の 説 なって園芸産地を エへの助成 め生産基盤の整備。	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	30年度 33,439 3,369 5,386 42,194 23,767	0 1年度 20,808 2,208 5,125 28,141 15,565	26,040 3,000 48,050 77,090 54,350	3,000 63,480 66,480 36,264	0 4年度	05年度	全体(最終)計 126,0 22,1 122,0 270,0 155,0
6 . : i dd dd	- ズの具体的内容及 園芸メガ団地整備をき 芸作物・畑作物の作付け 事業の全体計画及で 事業内 芸作物産地形成事業 地化促進排水事業 作条件改善事業 財源内訳 庫補助金 債	が変化の状況 予定している地域 けを予定している が財源 訳	型量調査 の内容 域からは、暗渠排水を主とする基盤型 5農業法人等からは補助暗渠整備への 左 園芸メガ団地や園芸メガ団地と一体と 農業法人等が行うモミガラ補助暗渠施 水田畑地化への取り組みを推進するた	を備の要望がある の支援の要望がある の 記 なって園芸産地を エへの助成 め生産基盤の整備。	まか、園 る。 FF 形成する	する対応	30年度 33,439 3,369 5,386	0 1年度 20,808 2,208 5,125	26,040 3,000 48,050 77,090 54,350 11,500	3,000 63,480 66,480		05年度	全体(最終)計 126,1 22,1 122,1 270,4

Г	7 . 事業の	効果を把握する	ための手法	及び効果	果の見込む									
	指標名	園芸作物・畑作物の					į	1標の種類					1 次評価 評価	西結果
	指標式	作付面積(ha)÷整体	情面積(ha) x 10	0				成果指標 業績指標	有効	а	a 達Æ	成率 10	目標は達成されているのかどうか) 適用の可否 可 不可 0%以上 b達成率80%以上100%未満 c達成率80%未満	Α
	年度別(の目標値(見込き	まれる効果) 低減	目標指標	該旨	当 非語	核当	性	【 評1	_		可又はcの場合の理由】	R
	指標	30年度 01年	度 02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度	側観		R5		未判明であるが、複合型生産への転換は着実に進んでおり、事業の有効性は高	D
l _{t!}	目標a	100	00 100						点		'			С
林	実績b	86							-	4 = 1		/		
"	b / a	86%	0% 0%							1 事			D妥当性(費用対効果の対前年度比) 適用の可否 可 不可 不可	
	東北及び	全国の状況なし									a 1.		b 0.9~1.1 c ~0.9 度の効果 \ / (平成30年度の効果 \ = (指標)	
	データ	等の出典 作付物	況報告書								조	·和01年 ·和01年	F. O. J. W. SE. / T. J. O. J. W. SE.	
	把握す	る時期 当	该年度中	月	翌年度	12月	翌々年度	月	効	【評化	(く	の適用不	度の決昇額 丿' (平成30年度の決昇額 丿 = (指標) 可又はcの場合の理由】	Α
	指標名						扫	標の種類	率				JAMES OF WILLIAM	
	指標式							成果指標 業績指標	性の					В
ļ.,	年度別	<u>.</u> の目標値(見込	まれる効果) 低減	目標指標	該当			観点	2]	スト	縮減のな	こめの取組状況	
村村	指標	30年度 01年	度 02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	а	客額	見的で効	果が高い b 取組んでいる c 取組んでいない	
177	目標a									[]	スト	縮減に向	けた具体的な取組内容又は取組んでいない理由】	С
	実績b										必	要最低限	の事業内容・工種に絞り込み、経済比較等により事業費の低減を意識した設計	
	a / b										12	11746	コスト縮減に努めている。	
		全国の状況												
		等の出典								A継続	売		当事業による園芸メガ団地等の産地化に向けた基盤整備や、排水機能の強化を目的は、1000年による。1000年により、1000年によりにより、1000年により、1000年により、1000年により、1000年により、1000年により、1000年により、1000年により、1000年により、1000年により、1000年により、1000年によりによりにより、1000年により、1000年により、1000年によりにより、1000年によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	
L	把握す		該年度中	月	翌年度		翌々年月	<u> </u>	総	B改善	島して	継続	補助暗渠への助成が、高収益作物生産拡大のために有効な手段であり、事業を継続 施する。	して美
		定することがで			把握方法				総合評	C見直	直し			
	指標を	設定することか	出来ない地	里田					温	D休廃	₹止			
										E終了	7			
	 ⊟;λ≠	 れる効果及び具	休かかた地地	また注/デ		曲今オン\								
	元匹本	(16分別未及び会	· 牛リ/み101/5	EJJIA(J	7 07Ш	双口(0)					.W. #	Filt A		
											必多	そ1生 - A	- B - C 有効性 - A - B - C 効率性 - A - B - C	
			1	次評価				AT (T) (A D	総	A継続	•		(2次評価対象外)	
		511-111	'	八田山				評価結果	引点			継続		
		らした妥当性 実施により、高収益	作物の生産坊	大に不可々	か其般が敕	a 借される#	b C		一評価	V)0A				
	理 ある。	大心により、同 仏血	17700 工注加	XIC-11-JX	6 坐血 17 走	M C 100 C	, o, c, y =		''''	D 休 発				
1,1								╛.		E終了				
	11+15	ズに照らした妥	<u> </u>			а	b c	Α Α					評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)	
푷	₹【□市町村や理 ある。	土地改良区、農業者	からの実施要	望の増大に	的確に対応	するもので	あり、妥当で	Č						
业	_車 画							В						
		妥当性(民間、ī		レの処割	<u></u>		h 0	_						
0)に関ラの多	メヨほ(氏囘、「 条例上の義務	内部管理乳	こり1又刮. 1発	刀担! 但でかけ‡	a hげ宝施7	b c ごきないもの							
霍		市町村で実施可能						C						
	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	物の生産拡大を図る	ため、暗渠排	水や農業用	水利施設等	のノウハウ	を有する県	=						
	東 は おける実 由	施が有効である。												

(様式4)継続事業中間評価調書 (令和02 年度実施事業)(事	前評価 平成26	6 年)				評価確!	定日(令和	102 年 09	5 月 13 日
事業コート 03030408	政策コード	03	政策名	新時代を勝ち	抜く攻めの農	林水産戦略		•		
東 光 々 戦略作物生産拡大基盤整備促進事業	施策コード	03	施策名	秋田米の戦略	的な生産・販	売と水田フル	舌用			
事業名 料略作物生產拡大基盤整備促進事業	指標コード		策目標(指標):	名 複合型生産構	造への転換を	支える基盤整	備の促進			
部 局 名 農林水産部 課 室 名 農地整備課	班名 水利整備	・防災班		(tel)	1830	当課長名			当名 近藤 瓜	貴
評価対象		の	内 容				事業年	度 平成26:	年度 ~ *	令和99年度
1 - 1 . 事業実施当初の背景(施策目標達成のためになぜこの事業が	必要であったの	ひか) β	. 事業目的 <u>(</u>	どういう状態に	したいのか)				
本県農業が米依存体質から脱却するためには、戦略作物の品質や収量の大幅業の実現を図る必要がある。多くのほ場において、暗渠排水や農業水利施設な田の排水機能の低下が見られるほか、安定した用水確保が困難となっており、な生産基盤の整備が必要となっている。	:どの老朽化により	り、水	۰	〈田の排水強化に		の実情に応じ 重点!		・更新を行い	、戦略作物の	生産拡大を図る
		4	 ・ . 目的達成の		21 (0 1)(1)(1)(1)	±///-		C 0710 F-X		
			事業の実施主		村、土地改良区					
1 - 2 . 外部環境の変化及び事業推進上の課題	- NE LIL I. II		事業の対象者		00000		_ ** 113			
大豆や枝豆等の戦略作物や地域特産物の生産拡大を目指す地域において、暗 暗渠等による排水強化対策や老朽化した農業水利施設等の早急な整備・更新に	i渠排水やモミガラ 対するニーズがt	フ補助 増加し								
てきている。	, 5 — , , , ,	1,54 0	達成のための			. Lik 1.30.00.00				·
				唱朱排	小爬工寺による	5 採小強化划束	ၯႜၒ <i>ႃ</i> ၯၟၛ)実情に応じた)	他設の登備・史	利で11 ン。
2.住民ニーズの状況(事業継続中に把握したもの)	1 年 00 日 \		5 . 昨年度の評	——————— 価丝甲笙	 継続	 改善		 見直しまたは ^ん		
ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: RO										# W = 1 - + 10 tale
ニーズの変化の状況 a 増大した b 変わらない c 減少 ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング その他の手法 (具体的に 要望量調査	<i>ンに</i> インターネット		評価の内容	(一次評価結果) られることから、	暗渠排水や 戦略作物の生産	農業水利施設の 拡大のために有	整備・更新によ 効な手段であり	り、排水機能の 、事業を継続し [*]	強化と安定した。 て実施する必要:	農業用水の確保が図 がある。
ニーズの具体的内容及び変化の状況の内容 水田の排水条件が悪いため転作作物の品質・収量が上がらず、ほ場の排水・ 老朽化した農業用用排水施設の補修・改修による安定した用水確保が必要 じて必要箇所を整備したい。		17	評価に対 する対応							
6.事業の全体計画及び財源										単位(千円)
順位 事業内訳 左	の 説	明		30年度	0 1年度	02年度	03年度	04年度	05年度	全体(最終)計画
学 パープ は、	マノ 日ル	-11		1 2 1 1/2	·	V = 1/X	0 0 1 IX	V · 1/X		
01 段整備型)				180,585	276,830	343,215	343,215	343,215	343,215	
02 戦略作物生産拡大基盤整備促進事業(農地整暗渠排水、区画拡大等の基盤整備										
(構型)				27,300	3,900	26,480	26,480	26,480	26,480	
財源内訳 左の説明				207,885	280,730	369,695	369,695		369,695	
国庫補助金農山漁村地域整備交付金等事業費の50(55)%				111,525		195,629				
				54,300		100,600	100,600		·	
そ の 他 事業費の22.5(17.5)%(市町村10%、土地改良区等の地元)	負担分12.5(7.5)%)			33,532	·	62,185	,			
一 般 財 源 事業費の27.5%				8,528	8,784	11,281	11,281	11,281	11,281	

Γ	7 . 事業の	を把握するための手法及び効果の見込み ストキャグ
		作物の作付拡大(作付割合の向上) 指標の種類 指標の種類 アルス おおお おお か
	指標式	割合(実施後)-作付割合(実施前) 作付割合(%)=作付面積/地 成果指標 有 業績指標
	年度別(標値(見込まれる効果) 低減目標指標 該当 非該当 性 【評価 <u>への適用不可又はこの場合の埋</u> 田】
	指 標	年度 01年度 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 最終年度 観
l _±	目標a	10 10 10 10 10 10 10 KK
材	実績b	12 10
	b / a	120% 100% 0% 0% 0% 0% 0% 0%
		$(I) \lambda T (\Pi I) I$
	データ	出典 事業達成状況報告書
L	把握する	期 当該年度中 月 翌年度 12月 翌々年度 月 ☆ 【評価 <u>への適用不可又は c の場合の理由】 </u>
	指標名	
	指標式	成果指標 業績指標 観
1		<u>標値(見込まれる効果) 低減目標指標 - 該当 - 非該当 点 2 コスト縮減のための収組状況</u>
林	指標	年度 01年度 02年度 03年度 04年度 05年度 06年度 最終年度 a 客観的で効果が高い b 取組んでいる c 取組んでいない
	目標a	ていない理由】
	<u>実績b</u> a / b	必要最小限の事業内容・工種に絞り込み、経済比較等により事業費の低減を意識した設 計を行うなどコスト縮減に努めている。
	東北及び	
	データ	中中
	把握す	10-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
F		スニトができたりは日本の初日の世紀では、
	3111111	Table Tab
	_見込ま	が 対果及び具体的な把握方法(データの出典含む) 2 次評価
		必要性 - A - B - C 有効性 - A - B - C 効率性 - A - B - C
		Table Ta
	課題に照り	上帝拉士には、其般教供が不可欠でも1) 東半中族は交出でも2
	理	D休廃止
1,		E終了
	性氏―一/	照らした妥当性 a b c A 評価結果の当該事業への反映状況等(対応方針)
季	[理]	也改良区、農業者から一定の要望が寄せられており妥当である。
1.4	趙	B
- 1		生(民間、市町村、国との役割分担) a b c
10	法令・	上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
篧	,,,	村で実施可能であるが県が関与する必要性が認められるもの
_	戦略作	上産拡大を図るため、暗渠排水や農業用水利施設整備のノウハウのある県に ラ効である。
"	は、日本のこの美	f効である。 - Total Control